

## 1 学習に取り組んでいる主な分野

<input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性	<input type="checkbox"/> 海洋	<input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災	<input type="checkbox"/> 気候変動
<input type="checkbox"/> エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 環境	<input type="checkbox"/> 文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 世界遺産・文化財
<input type="checkbox"/> 国際理解	<input type="checkbox"/> 平和	<input type="checkbox"/> 人権	<input type="checkbox"/> ジェンダー平等
<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 生産と消費	<input type="checkbox"/> その他 ( )	

## 2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校は、学校教育目標「豊かな人間性を持ち、主体的に考え行動する子供の育成」の達成に向けて、教育活動全体を通してE S Dを推進している。授業では、体験活動を重視した実践を行い、学び方を身につけると共に、一人一人の願いや個性を大切に、持続可能な社会の創り手に必要な資質・能力を育む。持続可能な社会のつくり手を育むE S Dのメインフィールドとして、総合的な学習の時間に探究的な学習過程を位置付け、問題解決学習の充実を図る。



## 3 特徴的な活動事例の紹介

### ○「広げよう ふれいあの心」3年生(福祉)

幼稚園児との交流を通して、園児とのよりよい関わり方について調べ、調べたことをもとに交流し考えを深めることができた。幼児との交流会までに、幼児が喜びそうな遊びを調べ、グループごとにおもちゃ作りを行った。交流会当日は、金魚すくい、的当て、手作りこま遊びなど幼児を楽しませる遊びを行った。幼児の目線に合わせて説明をしたり、ゆっくり説明をしたりと学んだことを実践することができた。後日、幼児からお礼のお手紙をいただき、子供たちの学習がよりよいものとなった。この学習を通して、他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感することができ、他者と協力・協働して物事を進めようとする態度が身についたと感じる。



### ○「自然観察ウォッチング」4年生(環境)

地域にある延命公園の植物や生物に、1年を通して関わる活動を通して、人と自然とのよい関わり方について考える学習を行った。ネイチャーガイドの方と一緒に公園で自然観察を行い、どんな植物や生物がいるのか、自分の目で確かめることで、それについて調べてみたいという意欲をもつことができた。実際に触れて、見て、調べての学習を繰り返すことで、調べている対象に愛着をもって調べることができた。まとめた内容は、校内の子供たちへと発信した。地域の豊かな自然を守るとともに、生物多様性について考えを深めることができた学習である。



### ○「考えよう！私たちの未来 ユニバーサル社会」6年生(福祉)

地域内の様々な施設の見学を通して、誰もが住みやすい街になっているかどうか、工夫や改善点について調べたり、車椅子体験をしたりしたことから、自分たちにできることはどんなことか課題を持ち学習した。市役所の方をゲストティーチャーに招き、大牟田駅周辺のバリアフリー化について話をいただいた。また、車椅子に乗り、自分たちで地域に出かけ課題を見つける学習も行った。この学習を通して、誰もが暮らしやすい街にするためには、施設の整備と共に人の力や心遣いが必要なことに気付き、自分ができることについて、これからの関わり方や接し方について意欲を高めることができた。



## 3 今後の活動計画

E S Dをさらに推進していくことができるように、各学年で身につけるべき資質・能力を明確にした学習を展開していく。

1. 生活科と総合的な学習の時間における学習内容の関連を図るだけではなく、各学年の発達段階や実態に応じ、身に付けさせる資質・能力を明確にする。
2. 活動ありきではなく、育成したい資質・能力を身に付けることにつながるように、活動の内容や方法を設定し、子供たちが課題意識をもって取り組めるようにする。
3. 子供たちの思いや課題意識を大切にしながら単元を構成し、一単位時間の授業を構想していく。生活科の学習では子供たちの思いや願い、総合的な学習の時間では、子供たちの課題意識を明確にし、思いや願い、課題を解決することに向かう活動を子供たちが主体となって設定することができるように、教師が意図的・計画的に指導・支援を行っていくことができるようにする。